

西 豊 表 かなる 島 島

沖縄本島からさらに

南西400kmにある八重山諸島。

その中でも最大の面積を誇る西表島の、

9割を占めるといふ原生林には、

国の特別天然記念物

「イリオモテヤマネコ」を

頂点とする独特の生態系が存在する。

「日本の最後の秘境」とも評される

島の海中もまた、

当然のように豊かで美しく、

そして生命に満ち溢れていた。

Photo & Text : Yusuke Okada
Special Thanks : Diving Team Unarizaki Iriomote
Design : Yoshiko Murata

I R I O M O T E I S L A N D

生命力溢れるシークレット
ガーデンのエダサンゴ

僕自身、西表島でのダイビングは約6年ぶり。それもダイビングを始めたばかりの頃に数日潜っただけだったので、しっかりと水中でカメラを持って潜るのは今回が初めてと言ってよかった。

陸上の、緑生い茂るジャングルは、滝を目指しての登山や、マングローブ林をカヤックで漕ぐなど、撮影で何度か訪れているので、ある程度のイメージを持っ

緑の生い茂る陸上から続く 海中ジャングル

てはいたが、水中はこれまでまったく潜る機会が無かった。

そんな状態だからこそ、まずは感じたままの海中の姿を写真に残したいと思い、あえて今回は海中の情報を持たず、白紙の状態以西表島へ向かう事にした。

今回潜った中で、一番印象に残っているポイントを挙げると『崎山アザミ』だろう。

深めのがれ場付近のカシミチヨウチョウウオの群れから始まり、独特の存在感漂うオキナワサンゴアマダイ。

深度を上げていくと色鮮やかなイソバナにアカネハナゴイの群れ。それに可愛いカクレマノミたち。

さらに浅瀬に向かって進んでいくと、陸に向かってサンゴが広がり、その周りには、次々に驚くほど多種多様な生物

が現れる。

西表島の陸上の緑豊かな自然と海中が繋がるような一体感を感じ、今回潜ったなかでも、西表島の大自然の底力のような豊かさを最も感じられるポイントだった。

初めて訪れるダイバーには、ぜひ潜ってもらいたいポイントである。



シュノーケリングで撮影したシークレットガーデンのサンゴと陸の原生林。豊かな陸と海の一体感を感じる。

崎山アザミの色鮮やかなイソバナ

豊かなる島 西表島



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

関連情報HPへ



「サクラダファミリア」を思わせるパラオハマサンゴが群生。ここまで群生しているのは珍しい。



べた風のシークレットガーデン。色鮮やかなエダサンゴが美しい

J U N G L E

圧巻のサクラダファミリア

一本目はガイドの森脇さんから『サクラダファミリア』みたいなパラオハマサンゴがありますよと聞いて潜ったポイント、ネットチャンネル。これほど写欲をかき立てられる光景なかなかないんじゃないかなと思うほど複雑な形

のパラオハマサンゴが見事に群生している。形、大きさ、配置、どれをとっても写真に撮りやすい。浅場は美しいサンゴにアカヒメジとこれもまた写欲を盛り上げてくれる。



ネットチャンネル、浅場のノコギリダイ

サンゴ

噂のサンゴポイント、シークレットガーデンはランチタイムにシュノーケリングで撮影。翌日もダイビングで行ったのだけど、特にフォト派ダイバーにとって、ここでの勝負の分かれ道は太陽の光と潮の満ち引き。べた風で潮が引いている時間に南国の強力な太陽光が完璧なシュチュエーション。

ここは今、西表島で一番綺麗な珊瑚礁でおそらく国内最大級と思われる枝サンゴの群生地、太陽光が入ると、カラフルなサンゴがより輝きを放ち、息をのむほどの美しさとなる。海水温の上昇やオニヒトデなどの要因で白化の進む沖縄の珊瑚の中にあつて、ここは今、かなり貴重な場所だと思う。

自分がダイビングを始めたのはここ5年ほど

だが、サンゴに関しては潜りに行く先々で聞くのは「昔はもっと綺麗だった」という話ばかりで、悔しさを常に抱えていたし、今の子供達が見る頃に「昔はもっと綺麗だったんだよ」と自分が話すことになるのは、本当に残念なことだと思う。

人間の手の及ばない自然界の大きな流れには逆らう事は出来ないかもしれないが、この貴重な資源を守るために、ダイバーも最低限のマナーを守って何とかこの美しさを保ち続けてもらいたいと心から願っている。



中性浮力をしっかりとってサンゴを傷つけないよう注意してほしい。

豊かなる島 西表島



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

← 関連情報HPへ

J U

スターフルーツ

期間限定のポイントであるスターフルーツも印象的だった。今回の取材中、ガイドを担当してくれた森脇さんも「久しぶりなので何が出るか分かりませんよ」と笑顔を向けた。彼は普段は穏やかな人柄ながらも、西表島の海を愛する熱い気持ちもがビシビシと伝わってくるので、一緒に潜っていて気持ちが良かった。

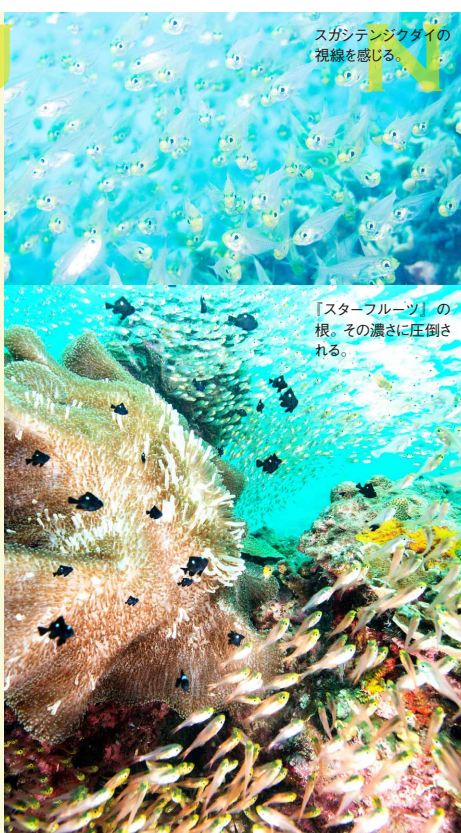
一緒に潜った他のガイドたちも、昨年の9月以来久々ということで、皆でワクワクしながらのエントリーとなった。エントリーしてまず、目に飛び込んで来たのは圧倒的な数のスカシテンジクダイにキンメモドキ。それにイソギンチャクにクマノミ。これぞ沖縄！な光景に初日からテンションが上がる。約8ヶ月間、人の出入りの無かった場所は、さすがに濃い。その後も次から次へとマクロ生物が現れて1時間を超すダイビングを、高い集中力を保ったまま楽しむ事ができた。

マンタ

西表島のマンタポイント、鹿ノ川。この日は残念ながら、マンタの登場はなかったが、印象的だったのは元気なサンゴ。このポイントではマンタを待っている間にサンゴをじっくり、ゆっくりと眺めるのもいいのかもしれない。

石垣島のマンタスクランブルといい、マンタのクリーニングステーションはサンゴが重要なんだと改めて実感。

また、このアザミサンゴはギネス級の大きさで一見の価値あり。自然のスケールの大きさをを感じる良い機会になるだろう。

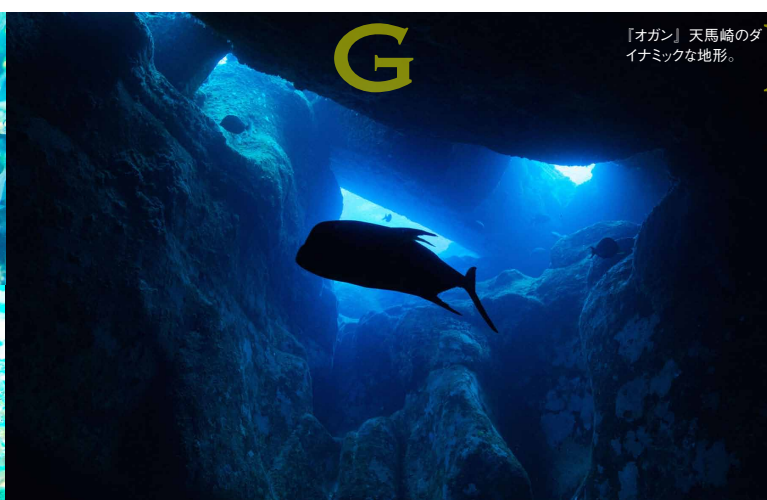


スカシテンジクダイの視線を感じる。

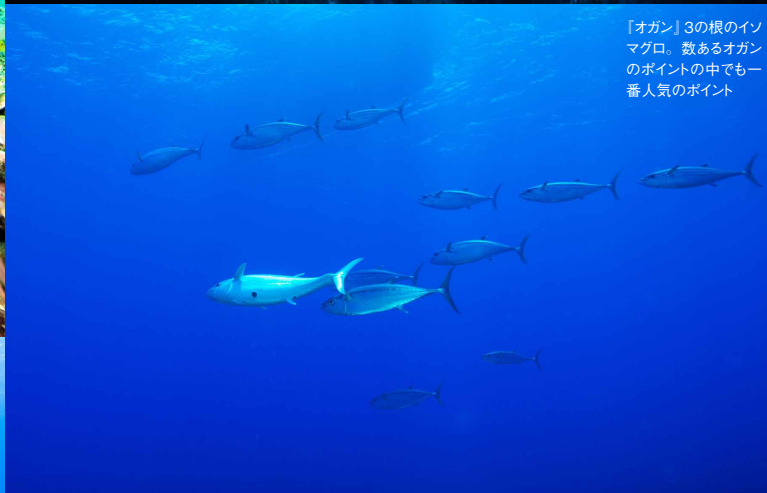
「スターフルーツ」の根。その濃さに圧倒される。



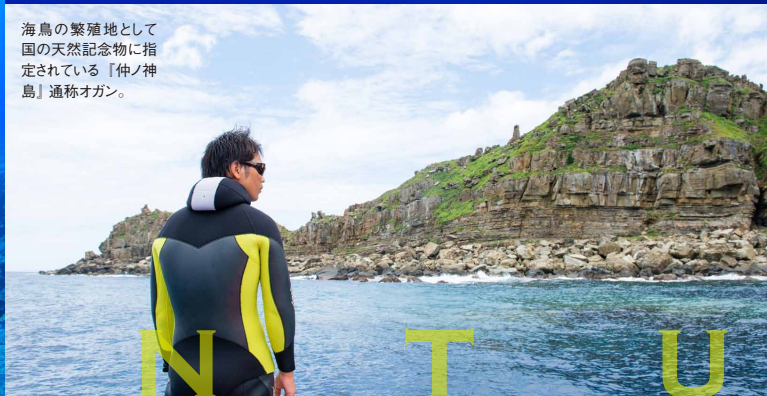
「鹿ノ川」のアザミサンゴ。ダイバーと比べてみるとその大きさが分かる。



「オガン」天馬崎のダイナミックな地形。



「オガン」3の根のイソマグロ。数あるオガンのポイントの中でも一番人気のポイント



海鳥の繁殖地として国の天然記念物に指定されている「仲ノ神島」通称オガン。

オガンのカツオドリ。うなりぎきのシンボルマークにもなっている。

L E

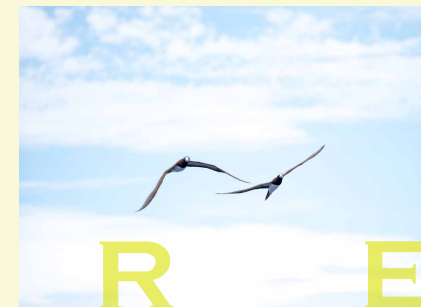
オガン

言わずと知れた、西表島を代表するポイント。日程や海況の都合で、残念ながら今回の滞在中『オガン』でダイビング出来たのは2本。そのダイビングで僕が出会えたのは数匹のイソマグロだけだったが、その他にも天馬崎をはじめ、抜群の透明度で地形を楽しめるポイントもあり運悪く大物に出会えなくても(自分のように…)ダイバーを飽きさせる事は全くない。3の根ではエキジット直前に数十匹のイソマグロが見れたらいいのだが、残念ながら自分は撮影にはいたらなかった。

『オガン』でのダイビングは基本的には海況の安定する夏の時期がメイン。船で約1時間、うなりぎきのシンボルマークでもある。カツオドリ、アジサシなどの渡り鳥の保護区でもある絶海の孤島の周辺を潜る。

ここでのダイビングに関しては昨年のウェブマガジン『西表ブランドのダイビングスポット、オガン潜入!』を参考にしてもらいたい。

http://oceana.ne.jp/webmagazine/201206_iriomote



A D

V E

N T U

R E

豊かな島 西表島

「アリス」の洞窟内に
差し込む美しい光

「ハリケーンチャンプ
ブルー」下からライトアッ
プされたアカマツカサ。
人口光で演出。

この島の周辺には光が綺麗に差し込む
フォト派ダイバーに魅力的な
地形ポイントも数多く存在する。

今回は『ハリケーンチャンプブルー』や
『アリス』で潜ったが、複雑な洞窟も多
く、ガイドも未だ全て把握するには至っ
ていないとの事。これからも新たな発
見がある可能性もあり、地形好きのダイ
バーは冒険心をくすぐられるだろう。

ここでは、ガイドや他のダイバーに声
をかけて地形の中に人を入れて撮って
みるとダイナミックさが伝わりやすい。

A D V E N T U R E

「アリス」の青い光の
中を探索するダイバー

豊 かなる 島
西 表 島

ocean+ 

©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

 関連情報HPへ

マクロ

言うまでもなくマクロに関しても沖縄らしい生物が溢れている西表島。今回行ったポイントでは、ニチリンダテハゼ、オドリハゼ、ハタタテシノビハゼなどのハゼ類が観察しやすい場所にいる『外離南』

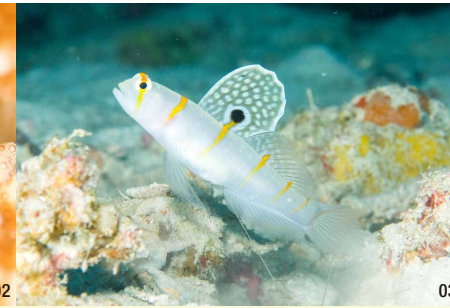
と何が出てくるか分からない玉手箱のような『スターフルーツ』が印象的。特に『スターフルーツ』は水深が浅く穏やかな水域でじっくりゆっくり観察できるので、特に3本目のダイビングにおすすめ。



01



02



03

M

A

C

R

O



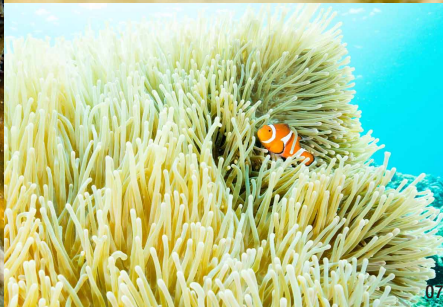
04



05



06



07



08



09



10



11



12

ハリケンチャンブル
01/ツバメタナバタウオ
網取浅場
02/カサイダルマハゼ
外離南
03/ニチリンダテハゼ

スターフルーツ
04/ロボコン(アナモリ
チュウコシオリエビ
05/シマキンチャクフグ
の幼魚
06/ヒメイカ

崎山アザミ
07/カクレクマノミ
ネットチャネル
08/ミゾレウミウシ
09/クマノミ(卵)

美田良浜
10/オイランヨウジ
11/イソギンチャクモ
エビ
12/トウアカクマノミ

豊かなる島 西表島

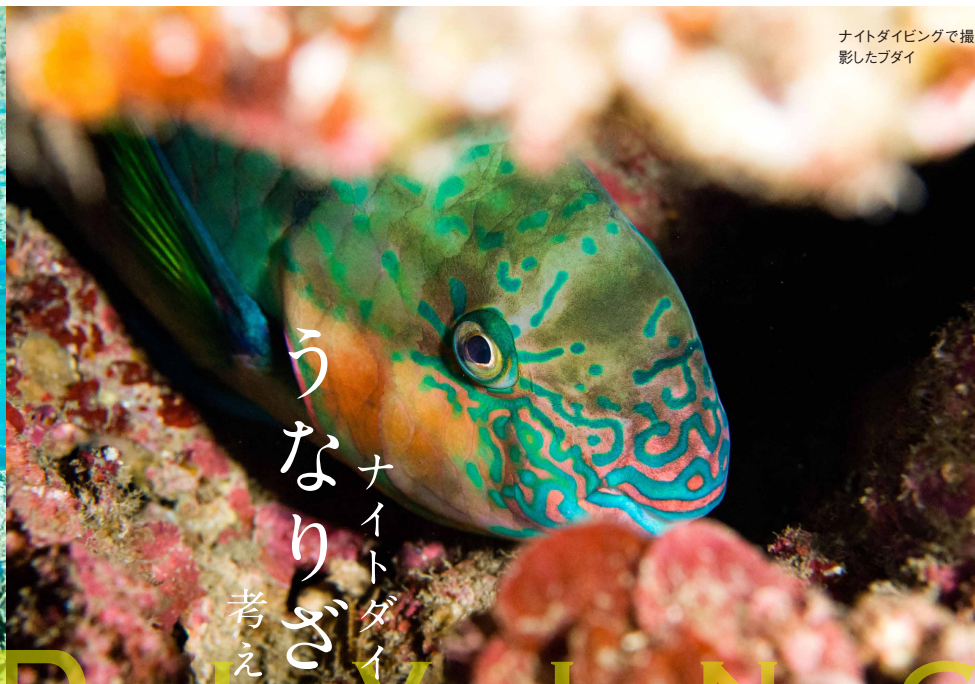


©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

関連情報HPへ



NIGHT DIVING

うなりぎきについて
考える
ナイトダイビングで

ダイビング最終日は満月の前日という事もあり、サンゴの産卵を目的にナイトダイビングを行った。

通常は満月後の中潮から小潮にかけてが、一番見られる確率が上がるとのこと。残念ながらこの日は産卵を見る事が出来なかったが、そこは西表島、サンゴの下で眠るブダイの顔の模様をじっくり眺めたり、昼間はなかなか見ることができなかったユキノボウシガニの可愛らしい顔を見られたりと、サンゴの産卵といった特別なことがなくても十分に楽しむ事が出来た。

ナイトダイビングのポイントは船着き場から5分ほどと近くにあり、日没前に現地に着し、日が沈み暗くなるのを待ってからのエントリーになるため、船上で夕

焼けを眺めながら待つ事となった。

他のゲストはいない、ゆったりとした時間の中で、チーフガイドの森脇さんが新人スタッフ達にナイトダイビングについて教えている様子を近くで見聞きしながら、穏やかながらも厳しい会話の節々に、このショップに継承されてきたゲストに対するホスピタリティを第一に考えるという理念を感じた。

そんな中でダイビングを始めた頃から感じていた『ダイビングチームうなりぎき』のカリスマ性について考えてみた。僕自身、どういう経緯でそれを感じ始めたのか覚えていないほど、いつの間にか入り込んでいたイメージ。それは他のお店とは一線を画す、イメージだけを伝える独特の広告によるものなのか、またはデイドリー

ムなどの系列店を含めたりピーターからの熱狂的な支持を伝え聞いたからなのか。

現地型のダイビングショップとしては日本でも有数の規模を誇るまでに成長し、ある種のカリスマ性を持ち得た理由は、その理念とショップ独自の教育システムがしっかりと継承されてきたからだろう。滞在中に出会ったゲストで、何年も通っていてしかも今月は既に2回目、という熱烈なりピーターにも会ったが、このお店の心がゲストをそうさせるのかもしれない。とにかく若きガイド達の熱く真剣な姿に、『ダイビングチームうなりぎき』の未来と伝統を感じた夜となった。

西表島の魅力を一言で表すなら、バリエーションの豊富さだと思う。それも全てが高いレベルにある事は間違いない。

度を誇るこの特別な海を目標に、ダイビングスキルの向上を目指すのも悪くない。

初心者からベテランまでそれぞれのレベルや好みに応じて様々な経験が出来る西表島の海。

そしてそれを可能してくれるのが大小多数の船を持つからこそその機動力と、若くともしっかりと教育を受けた信頼のおけるガイドの存在だろう。

色とりどりの美しいサンゴ礁に、光が綺麗に差し込む豪快な地形、沖縄らしい人気のマクロ生物に、一度は見てみたい人気者のマント。

そして何よりも『オガン』の存在がある。初心者には敷居の高い海である事には間違いないが、だからこそ、技術スキルが向上しダイビング経験に自信がついた頃、念願かなって行く事に格段の喜びを感じるはず。大物、群れに抜群の透明



豊かなる島
西表島



I N F O R M A T I O N

今回、お世話になったダイビングチームうなりざきはヴィラうなりざき、イルマーレウナリザキと2つの宿を併設する。ダイバーに優しい設計で宿泊施設、レストラン、ダイビングに向かう船着場と、その全てが徒歩数分圏内で結ばれている。泊まった部屋から徒歩3分程度

で船着き場というロケーションには驚いた。とにかくダイビング漬けの毎日を送りたいと思っているゲストにはこの環境はありがたい。
“お客様の笑顔がみたいから”をコンセプトにしたサービスはホスピタリティに溢れ全てにおいて満足いく時間を提供してくれる。

ダイビングチームうなりざき西表



T907-1541
沖縄県八重山郡竹富町字上原10-172
Tel.0980-85-6146 Fax.0980-85-6844
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

若くとも信頼感のあるスタッフたち

ボート

ダイバーの為に設計された定員40名の大型ダイビングボートを3隻と小型ボートを1隻所有している為、レベルや目的別のグループ編成、リクエストベースのポイント選択が可能。ビギナーからベテラン、年配の方やカメラ派と様々なニーズに応える事ができる。

長い年月をかけて改善を重ねた船には純酸素とAEDを装備、安全を考慮したウォータージェット推進機やトイレ、温水シャワーの完備している為、快適に過ごす事ができる。



01

イルマーレウナリザキ

2007年4月にオープンした全室オーシャンビューのダイバーズリゾート。(シングルルーム22室、ツインルーム18室の全40室) 全室が洋室で、インバス、テレビ、クーラー、セーフティ

ボックス完備。全室無料でWi-Fiに接続可能。海を一望できる円形のレストランでの朝食は無料のバイキング形式。夕食も地元食材を使ったメニュー豊富な沖縄料理を手軽に楽しめる。



02



03



04

アクセス



西表島へのアクセスは、今年3月に新石垣空港が誕生した事で利便性が向上、石垣島への直行便が増え、LCC(格安航空会社)が参入し、より行きやすく、より安い旅先となった。
新石垣空港からは路線バス(約45分 500~600円程度)かタクシー(約35分 3,000円程度)で、離島ターミナルへ。そこから高速船に乗り継いで約1時間で到着。上手く乗り継げば、出発当日にダイビングする事も可能。僕自身、朝、神奈川の自宅を出て、当日の午後には西表島でダイビングする事ができた。西表島は想像よりも近い。



05



06



07



08

ヴィラうなりざき

隠れ家風リゾート、アフターダイブを快適にをコンセプトに気持ちのよい緑の芝生に覆われている庭ではBBQも楽しめる。全室にテレビ、クー

ラー、温水バスを完備し全室無料でWi-Fiに接続可能。

- 01/高性能、安全で快適なボートでストレスのないダイビングを
- 02/ホテルの敷地内には色とりどりの美しい花が咲き誇っている
- 03/海を一望出来、美しい光の差し込む明るく清潔なレストラン
- 04/ツインタイプの客室。シングルルームが22室とツインルーム18室の合計40室
- 05/ヴィラうなりざき外観
- 06/BBQの食材
- 07/客室から海を望む事ができる
- 08/各種ドリンクが揃うクラブハウスで夕食後にゆっくりとログ付けしよう

豊かなる島 西表島



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
<http://www.unarizaki.com/iriomote/>

関連情報HPへ